

国際機関

世界銀行 (World Bank)	
評価ユニット	independent Evaluation Group
評価基準	<ul style="list-style-type: none">● 目的の妥当性 (Relevance of Objectives)● 効率性 (Efficiency)● 有効性 (Efficacy)● 持続可能性 (Sustainability)● 制度発展への影響● 銀行のパフォーマンス● 借り手のパフォーマンス
ガイドライン 参考資料	「 Annual Review of Development Effectiveness.」 「 Monitoring and Evaluation (M&E): Some Tools, Methods and Approaches」

国際通貨基金 (International Monetary Fund)	
評価ユニット	Independent Evaluation Office
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 独自の評価基準を使用している。評価ユニットは 2001 年に創設され比較的新しい部署である。 ● 評価は業績評価が中心であり、財政的危機管理のマクロ経済的側面による評価、ガバナンスの評価、透明性と説明責任の確保、政策の持続可能性の確保、マネーロンダリングの撲滅、国際貿易への影響、民営化などの観点から評価が実施される。
ガイドライン 参考資料	<p>「Possible Topics for Evaluation over the Medium Term.」</p> <p>「An Evaluation of The IMF and Aid to Sub-Saharan Africa」</p>

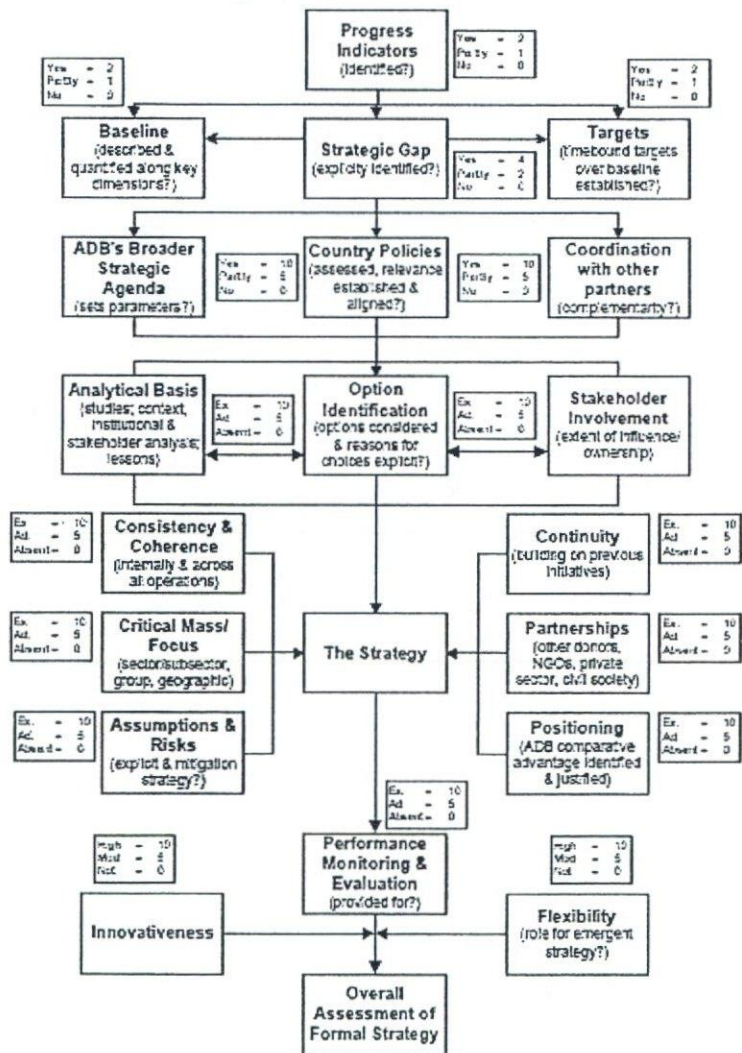
アジア開発銀行 (Asian Development Bank)

評価ユニット	Operations evaluation department
評価基準	<p>一般的な政策評価の基準としては</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 妥当性 ● 有効性 ● 効率性 ● 持続可能性 ● 制度発展と他の影響 <p>を用いている。</p> <p>これらに加えて、プロジェクト毎の評価では、</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 文脈 (Context)・・・経済・政治・社会・歴史的文脈が ADB の援助に与える影響 (2) 調整 (Alignment)・・・被援助国政府自身が実施している開発計画との整合性 (3) 調和 (Harmonization)・・・他の援助機関が実施している政策との調和 (4) 相乗効果 (Synergies)・・・他の政策との相乗効果 (5) 良い統治 (Good Governance)・・・不正の撲滅や制度的な発展などを含むガバナンスのレベル (6) 実施 (Implementation)・・・望ましい結果の達成に向けて実施が進行しているか (7) 結果 (Result)・・・貧困削減や持続可能な発展につながるような結果が出ているか。 (8) インパクト (Impact)・・・貧困削減や

経済発展に対する長期的な影響

(9) 企業の貢献 (Corporate Commitment)・・・不正の撲滅などの間接的なものを含めて企業の貢献につながるような結果が出たか。

という9つの指標を用いている。



また評価は、以上の図のようなプロセスの中に位置づけられており、各プロセスの段階で以下のような指標も政策評価基準として用い

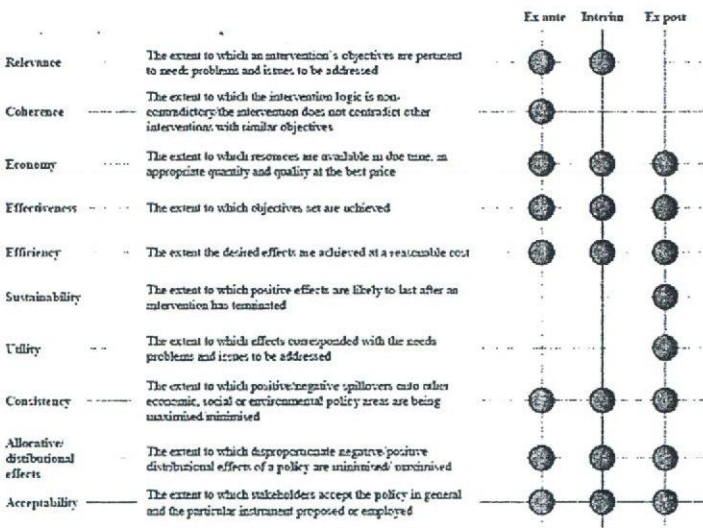
	<p>られている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 進展指標 ・ 目標到達 ・ ベースラインの達成 ・ ADB の戦略との乖離 ・ 国の政策（援助実施国政府の政策との整合性） <ul style="list-style-type: none"> ・ 他の組織との調整 ・ 戦略が根拠に基づいているか ・ 他のオプションが特定され、比較されたか ・ 利害関係者が意思決定に関与したか ・ 他のプロジェクトと一貫性があるか ・ クリティカルマス（資源はプロジェクトを成功させるために十分に提供されているか） ・ 仮説とリスク（リスクがしっかりと想定されているか） ・ 継続性があるか ・ パートナーシップ ・ ADB の位置づけ ・ パフォーマンスの進捗管理と評価 ・ 革新性 ・ 柔軟性
<p>ガイドライン 参考資料</p>	<p>「Guidelines for the Preparation of Country Assistance Program Evaluation Reports」 「Guidelines for Preparing Performance Evaluation Reports on Nonsovereign Operations」</p>

欧州復興開発銀行（EBRD）	
評価ユニット	Evaluation Department
評価基準	委託関係の指標として <ul style="list-style-type: none"> ● 変化へのインパクト ● 環境パフォーマンスと変化 ● 付加価値 銀行の理念に関する指標として <ul style="list-style-type: none"> ● 目標の達成 ● 投資パフォーマンス 銀行の有効性に関する指標として <ul style="list-style-type: none"> ● 銀行の投資業績 ● 銀行の業務遂行
ガイドライン 参考資料	「Measuring Evaluation Performance」 「Evaluation Policy of the EBRD」

アフリカ開発銀行 (African Development Bank)	
評価ユニット	Operations Evaluation Department
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 妥当性 ● 有効性 ● 効率性 ● 制度発展への影響 ● 持続可能性 ● 銀行側のパフォーマンス ● 借手のパフォーマンス
ガイドライン 参考資料	<p>「Monitoring and Evaluation of Poverty Reduction Strategies in Regional Member Countries: Training Needs Assessment」</p> <p>「Glossary of Key Terms in Evaluation and Result-Based Management」</p> <p>「PPER Summary of four Agriculture Sector Projects」</p>

米州開発銀行 (Inter-American Development Bank)	
評価ユニット	Office of Evaluation and Oversight
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 妥当性 ● 一致性 ● 有効性 ● 効率性
ガイドライン 参考資料	「Protocol for the conduct of country program evaluations.」

欧州連合 (European Union)

評価ユニット	Evaluation Unit																																												
<p>評価基準</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 妥当性 ● 一致性 ● 経済性 ● 有効性 ● 効率性 ● 持続可能性 ● 活用性 ● 波及性 ● 配分・分配効果 ● 受容可能性 <p>事前・中間・事後評価のそれぞれにおいて、利用される評価基準は異なっている。用いる評価基準は、以下の図の通り。</p>  <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th></th> <th>Ex ante</th> <th>Intervin</th> <th>Ex post</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Relevance</td> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>Coherence</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>Economy</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>Effectiveness</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>Efficiency</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>Sustainability</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>Utility</td> <td></td> <td></td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>Consistency</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>Allocative/distributional effects</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>Acceptability</td> <td>●</td> <td>●</td> <td>●</td> </tr> </tbody> </table>		Ex ante	Intervin	Ex post	Relevance	●	●		Coherence	●			Economy	●	●	●	Effectiveness	●	●	●	Efficiency	●	●	●	Sustainability			●	Utility			●	Consistency	●	●	●	Allocative/distributional effects	●	●	●	Acceptability	●	●	●
	Ex ante	Intervin	Ex post																																										
Relevance	●	●																																											
Coherence	●																																												
Economy	●	●	●																																										
Effectiveness	●	●	●																																										
Efficiency	●	●	●																																										
Sustainability			●																																										
Utility			●																																										
Consistency	●	●	●																																										
Allocative/distributional effects	●	●	●																																										
Acceptability	●	●	●																																										
<p>ガイドライン 参考資料</p>	<p>「Evaluation Quality Assessment Framework」</p>																																												

国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR)

評価ユニット	Evaluation and Policy analysis Unit
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 合理性 ● 有効性 ● 効率性 ● インパクト <p>より詳細な基準としては以下のものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 計画の整合性 ● UNHCR の活動に対する正当性 ● 結果とインパクトの重視 ● インパクトが特定されていること、必要な費用が網羅されていること ● 運営の質 ● 調整の質 ● 実施の質
ガイドライン 参考資料	<p>「Evaluation of humanitarian assistance in emergency situations」</p> <p>「Enhancement of the evaluation Function in UNHCR」</p>

世界保健機構 (World Health Organization)

評価ユニット	各ユニット毎
評価基準	<p>医療制度の評価基準としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 健康結果 ● 健康結果の分布 ● 応需性 ● 応需性の分布 ● 支払いの公平さ <p>の5基準が用いられた。</p> <p>個々のプロジェクトの進捗管理・評価は、各セクターが実施しており、それぞれの領域で重要な指標が基準として用いられている。明確に設定されているわけではないが、一般的な基準としては以下のようなものもある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 緊急性 ● 患者中心 ● ケアの貢献 ● 政府のオーナーシップ ● 扱いと人権 ● パートナーシップと多様性 ● 相互補完性 ● 学習・イノベーション・共有 ● 倫理的基準 ● 公平性 ● 説明責任 <p>またプログラスマネージャーによる評価項目は以下のような項目から構成される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 総合的な貢献の度合い ● 戦略的な計画 ● 適正技術の使用

	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術使用のためのガイダンスの充実 ● トレーニング ● 人的資源拡大への貢献 ● 医療制度強化への貢献 ● 他のセクターとの協働
ガイドライン 参考資料	「Evaluation of WHO's Contribution to "3 BY 5"」

国連開発計画 (United Nations Development Programme)	
評価ユニット	Evaluation Office
評価基準	<p>セクター毎に方向性が異なっている。社会開発セクターでは、人間開発指標などが用いられている。</p> <p>一般的には、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 有効性 ● 効率性 ● インパクト <p>などが用いられ、結果重視マネジメントが行われている。</p>
ガイドライン 参考資料	「Result Based Management Guideline」

国連児童基金 (United Nations Children's Fund)	
評価ユニット	Evaluation Office, Division of Policy and Planning
評価基準	<p>DAC の基準を採用</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 妥当性 ● 有効性 ● 効率性 ● インパクト ● 持続可能性 <p>緊急援助に関しては、DAC の緊急援助基準を採用。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 対象範囲 (Coverage) ● 調整 (Coordination) ● 一致性 (Coherence) ● 保護 (Protection)
ガイドライン 参考資料	「Programme Policy and Procedures Manual: Programme Operations Monitoring and Evaluation Quick Reference」

国際労働機関 (International Labor Organization)	
評価ユニット	Evaluation Unit
評価基準	<p>DAC 5 基準と関連した以下の指標を政策評価の基準としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 組織的効率性 (知識開発と共有、労働の過程の効率性、オペレーション補完計画、ILO の活動との整合性) ● 役割と妥当性 (国家の優先順位との連携、パートナーシップとネットワーク) ● 焦点と一致性 (中心部分との適合性、活動の適切性と資源動員) ● 結果の証拠 (明解で証明された結果、政策実行能力への結果)
ガイドライン 参考資料	「Independent Evaluation of ILO's Strategy for Employment Creation through Employment-intensive Investment」

二国間援助機関

ここでは、OECD の海外援助評価ネットワークに加入している組織を取り上げる。順番は 2005 年時点での ODA の総額順である。

アメリカ USAID(U.S Agency for International Development)	
評価ユニット	Center for Development Information and Evaluation (但し実際の評価者は、委託契約を結んだ第三者であることが多い。)
評価基準	<ul style="list-style-type: none">● 時宜にかなっているか● 適切さ● 満足度● 合理性 などの基準を用いているが、その運用は柔軟に捉えられている。これらの規範的な評価基準よりも、結果・インパクトが重視されている。
ガイドライン 参考資料	「Evaluation of Recent USAID Evaluation Experience」

日本 外務省	
評価ユニット	国際協力局
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 妥当性 ● 有効性 ● 効率性 ● インパクト ● 持続可能性 ● 広報効果（支援を実施した案件が、日本からの「顔の見える援助」として被援助国において認知されているかを評価する。また、広報のために取られている手法が適当であるかについても検討を加える。） ● 被援助国による評価
ガイドライン 参考資料	「平成17年度：無償資金協力に係る事後評価実施ガイドライン」

日本 国際協力機構	
評価ユニット	企画・調査部事業評価グループ
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 妥当性 ● 有効性 ● 効率性 ● インパクト ● 自立発展性
ガイドライン 参考資料	「プロジェクト評価の手引き」

日本 国際協力銀行	
評価ユニット	独立したユニットは無い
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 妥当性 ● 有効性 ● 効率性 ● インパクト ● 持続可能性 上記5項目を横断する基準として、 <ul style="list-style-type: none"> ● 政治的 ● 技術的 ● 環境的 ● 社会・文化的 ● 組織制度・管理運営 ● 経済・財政 を設定し、これらの基準にも言及するよう求められている。
ガイドライン 参考資料	「円借款事業評価研修テキスト」

フランス AFD(フランス開発公社)	
評価ユニット	Evaluation Unit
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 効率性・有効性 ● 制度的・経済的・社会的・環境的影響 ● 制度的・技術的・財政的実行可能性
ガイドライン 参考資料	「Evaluation Manual」

イギリス DFID (Department for International Development)	
評価ユニット	Evaluation Department
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 妥当性 ● 有効性 ● 効率性 ● インパクト ● 持続可能性 <p>DAC 5 基準を受け入れたのは 2005 年である。ただし、最低限の基準としては、妥当性、有効性、効率性を採用しており、持続可能性、インパクトに関しては必要な場合にのみ行うことになっている。</p> <p>また、質の評価に関して以下の指標も採用している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 加えられた価値 ● 倫理的・職業的 ● 信用性 ● 有用性 ● 利用可能性 ● 費用便益 ● 受益者の需要を満足させているか ● 時宜にかなっているか
ガイドライン 参考資料	「Guidance on Evaluation and Review for DFID Staff」

ドイツ 経済協力開発省 (Ministry of Economic Cooperation and Development)	
評価ユニット	Evaluation Unit
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 妥当性 ● 有効性 ● 効率性 ● インパクト ● 持続可能性
ガイドライン 参考資料	「Country Programme Evaluation」

ドイツ ドイツ技術協力公社 (GTZ)	
評価ユニット	Evaluation Unit
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 妥当性 ● 有効性 ● 効率性 ● インパクト ● 持続可能性
ガイドライン 参考資料	「 Guidelines on the Project/Programme Progress Review」

ドイツ KfW (Kfw Entwicklungsbank)	
評価ユニット	The Independent Evaluation Department (FZE)
評価基準	<p>主要な政策評価の基準としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 有効性 ● 妥当性・重要性 ● 効率性 <p>を用いている。</p> <p>業績評価としては、上記の指標以外に、</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 目標の達成と制度発展 ● 財政への影響 ● 経済への影響 ● 環境への影響 ● 社会経済・社会文化的影響 ● 持続可能性 <p>を用いている。</p>
ガイドライン 参考資料	「Results of Financial Cooperation」

オランダ 外務省	
評価ユニット	Policy and Operations Evaluation Department (IOB)
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 妥当性 ● 有効性 ● 効率性 ● インパクト ● 持続可能性
ガイドライン 参考資料	「From project aid towards sector support: an evaluation of the sector-wide approach in Dutch bilateral aid 1998-2005」

スウェーデン Sida (Swedish International Development Cooperation Agency)	
評価ユニット	Department for Evaluation and Internal Audit
評価基準	<ul style="list-style-type: none"> ● 有効性 (Effectiveness) ● インパクト (Impact) ● 妥当性 (Relevance) ● 持続可能性 (Sustainability) ● 効率性 (Efficiency) ● 適切さ (Appropriateness) ● 対象範囲 (Coverage) ● 連結性 (Connectedness) ● 一貫性 (Coherence)
ガイドライン 参考資料	「Sida's Evaluation Plan 2005」